

# マルチメディア教材「天神」

## 病院施設へ無償提供

「学校に行くのが困難でも道はある」

（株）タオ

マルチメディアによる学習教材「天神」の制作・販売を行っている（株）タオ（滋賀県草津市）は、現在関西エリアの病院施設へ教材を無償で提供している。学校へ行くことができない子供たちの「学習の遅れ」を支援するのが狙いで、地元関西の医療機関への提供により地域貢献活動を積極的

に進めている。天神はパソコンやタブレットを利用して幼児教育から高校まで一貫的に学ぶことができる学習システムで、学問の神様・菅原道真にちなんで名付けられている。専用の端末を用意する必要はなく、インターネットの環境も必要ない。

小中学校版は各社の教科書に準拠している上、高校までの各学年の各教科がいつでも好きな時に学習できる。途中で分からないところが出てきた場合、教室の授業だと自

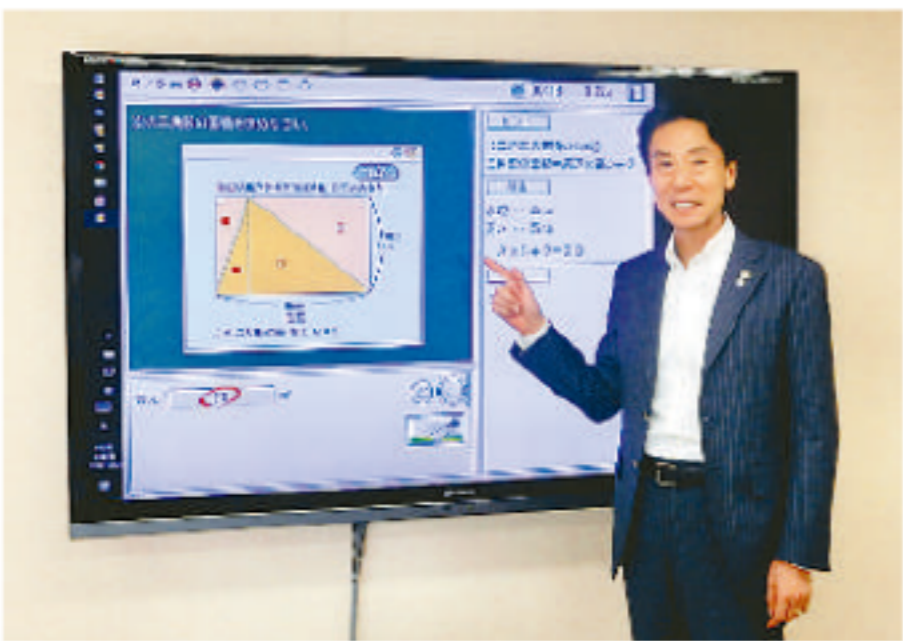
分のために止まってくれないが、天神なら分かるようになるまで同じところを学習でき、逆に理解できたら自分だけ先へ進むこともできる。学習や理解の進捗状況は人によって異なるものであり、ここに「子供たちの可能性を引き出し、自己実現ができることで自信や希望を持ってほしい」という、開発者でもある井内良三社長の思いが込められている。1995年の小学生版発売以降、まず公立・私立の学校で導入され、その後パソコンの普及で家庭にも使われるようになった。

一方、病気やけがで学校に通えなくなることや学習の遅れが課題となっているという同社への問い合わせが年々増加。院内学級などの現場で天神を使ってもらうことで子供たちを支援し、地域貢献を行うことになった。

2019年2月から滋賀県内のみで募集し、10月に募集対象エリアを関西全域に広げた。応募があった中から5施設に2020年9月まで提供する。

学習の遅れの課題は発達障害のある子供たちも同様に抱えている。しかし天神の活用により発達障害の子供も学力が向上しその効果が学会で発表されるなど、成果を上げている。他にも、不登校の中学生が天神を使い、1週間に1度担任が確認する形で指導した結果、不登校のまま高校に合格できた。通知表の成績がオール1だった生徒が難関国立大学に合格したりするという実績もある。

【詳細・問い合わせ先】  
http://www.tenjin.co/ 20120(019)8288(平日:10~22時、土日祝:10~19時)



「天神」の学習画面と井内社長

光熱費の把握、故障や寿